

議会だより

おしのがわ

No.35

平成25年8月25日

発行：徳島県吉野川市議会



花火大会・美郷ほたるまつり

目次

議長・副議長あいさつ 2

議会議成 3

議案の審議から 4

代表質問 8

一般質問 10

クイズ 16

改選後、初の定例会で正副議長 及び委員会構成決まる

議長あいさつ



議長 増富 義明

市民の皆様には、日ご
ろから市議会に対し、深
いご理解とご協力をいた
だき、厚く御礼申し上げ
ます。
去る5月19日執行の市

議会議員一般選挙後の6
月定例会(初議会)におき
まして、議員各位のご推
挙をいただき、市議会第
9代議長の要職に就くこ
とになりました。誠に身
に余る光栄であり、その
職責の重大さに身の引き
締まる思いでございます。
さて、今回の一般選挙
から議員定数が20人に変
更となり、市民の皆様か
ら付託された、市行政の
議決機関として、責任は
さらに重くなったと痛感
しております。
市財政の厳しい折では
ございますが、吉野川市
が目指す「世代を超え、夢
紡ぐまち」の構築に向け、
微力ではありますが、一
専心の思いで全力を尽く
してまいります。
市民の皆様におかれま
しても、なお、一層のご支
援ご協力を心からお願
い申しあげまして議長就任
のご挨拶いたします。

副議長あいさつ



副議長 岸田 益雄

市議会議員一般選挙後
の6月定例会(初議会)に
おきまして、議員各位の
ご推挙を賜り、副議長に
就任いたしました。今回

の一般選挙では議員が20
人となり、市民の皆様か
ら付託された議員1人に
対する責任がさらに重く
なった中で、副議長の職
責を担うことは、身に余
る光栄であり、その職責
の重大さに身の引き締め
る思いでございます。
副議長を拝命したかぎ
りには、議長の補佐役と
して、微力ではありますが
が議会の公正かつ円滑な
運営に誠実に取り組む所
存であります。
「市民に信頼される議
会・開かれた議会づくり」
に努めると共に、「元気で
明るい吉野川市」を目指
し、誠心誠意努力する所
存であります。
今後とも、市民の皆様
方におかれましては、市
議会に対し、ご指導とご
協力をお願い申し上げます。
就任のご挨拶とい
たします。

議会運営委員会

- 委員長 河野 利英
- 副委員長 川村 辰夫
- 委員 岸田 秀樹
- 委員 枝澤 幹太
- 委員 高木 純
- 委員 福岡 正
- 委員 栗原 五男

議会広報特別委員会

- 委員長 岡田 光男
- 副委員長 細井 英輔
- 委員 塩田 智子
- 委員 岸田 益雄
- 委員 藤原 一正
- 委員 川村 辰夫
- 委員 栗原 五男

常務委員会担当部局

- 総務常任委員会
- 総務部、防災局
- 市民部、支所
- 文教厚生常任委員会
- 健康福祉部、教育委員会
- 産業建設常任委員会
- 産業経済部、建設部
- 水道部

各会派別名簿

- 薫風会
 - 代表 河野 利英
 - 副代表 枝澤 幹太
- 志誠会
 - 代表 工藤 俊夫
 - 副代表 栗原 五男
- 郷土・麻植会
 - 代表 藤原 一正
 - 副代表 岸田 秀樹
- 民主クラブ
 - 北川 麦
- 公明党
 - 相原 一永
- 日本共産党
 - 岡田 光男
- 市民クラブ
 - 高木 純
- 新しい風吉野川
 - 阿佐 勝彦
- 由美会
 - 原田 由一



委員
岸田 秀樹



委員
細井 英輔



副委員長
塩田 智子



委員長
栞原 五男



委員
北川 麦



委員
増富 義明



委員
川村 辰夫

(議席番号順)

総務
常任委員会

7名



委員
河野 利英



委員
岸田 益雄



副委員長
岡田 光男



委員長
福岡 正



委員
高木 純



委員
田村 修司



委員
藤原 一正

(議席番号順)

文教厚生
常任委員会

7名



委員
阿佐 勝彦



委員
原田 由一



副委員長
相原 一永



委員長
枝澤 幹太



委員
工藤 俊夫



委員
近久 善博

(議席番号順)

産業建設
常任委員会

6名

の審議から

6月定例会では、条例関係案2件、予算案1件、専決関係案6件、その他11件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

産業建設常任委員会

▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算
▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算

平成25年度吉野川市一般会計補正予算

質問

老朽危険空き家除去支援事業で、相続人などが不在、または不明になっている対象家屋への対応はどうするのか。

建築宮繕課長

老朽化と危険度の判断をするため、現地での事前調査を行うことを考えているので、その際に近隣住民からの聞き取りを行うなど、できる限り相続人などの特定を行う努

力を行うこととし、危険度については点数化することを考えている。

建設部長

所有者の特定については、事業の補助率が5分の4、限度額80万円となっており、5分の1は自己負担となる。相続人などがはっきりしてなくとも、責任をもって対応し、かつこの自己負担をさせていただける方になります。

質問

道路側にだけ家が倒壊しないよう、例えば庭側から引張るなどの対応はとれないか。

建築宮繕課長

空き家といえども個人

の財産であることから、行政側が勝手に触ることはできない。

◇以上異議なしで可と決定



老朽危険空き家除去支援事業予定の空き家

意見書

◇賛成多数で可決

▼伊方原発の再稼働を行わず、エネルギー政策の転換により脱原発社会をめざすことを政府に求める意見書

提出者 阿佐勝彦

平成25年6月議会
定例会

議案

日程：平成25年6月7日～6月28日

文教厚生常任委員会

- ▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算
- ▼平成24年度吉野川市介護保険特別会計補正予算
- ▼吉野川市子ども・子育て会議条例制定
- ▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算
- ▼川島こども園改修工事のうち建築工事請負契約の締結

吉野川市
子ども・子育て
会議条例制定

き、アンケート調査を実施し、地域の実情に応じた事業計画の策定に着手する予定としている。

質問

本条例の目的は何か、また委員選任について、幼稚園、保育園などの各立場が違つ方々を広く選任してもらいたい。

子育て支援課長

子ども・子育て会議は、国の関連3法案に基づくもので、子ども・子育て支援事業計画策定にあつての条例であり、この夏に国から基本指針が示される予定となつて

いる。
この基本指針に基づ

川島こども園
改修工事のうち
建築工事請負契約の
締結

質問

川島庁舎は、過去に雨漏りなどがあつたと思うが、確認は取れているのか。また、東京行きのバス停については、調整できているのか。

子育て支援課長

担当課から、雨漏りは2階部分に確認している。今回改修する予定としている。バスについては、バス停の位置の変更をお願いしている。

質問

以前に改修については、子ども目線でのことで、窓の高さが問題と



川島こども園

なつていたが、資料の図面ではわからない。どうなるのか。

子育て支援課長

一部は開口部分を広くし、出入りができるようにしている。窓については、高さはそのままにしているが、床を上げることで対応したい。

◇以上異議なしで
可と決定

総務常任委員会

吉野川市防災行政無線システム 整備工事請負契約の締結

- ▼吉野川市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ▼吉野川市税条例の一部を改正する条例
- ▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算
- ▼平成24年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算
- ▼平成25年度吉野川市一般会計補正予算
- ▼吉野川市防災行政無線システム整備工事請負契約の締結

平成24年度吉野川市国民健康保険 特別会計補正予算

質問
出産育児一時金が759万円、率にして4割以上の減額となっているが、当初の見込額は。

国保年金課長

当初予算で1890万円計上していた。減額の理由は医療機関で分娩する場合、産科医療保障制度に加入している医療機関と未

加入の医療機関があり、加入している医療機関では子ども1人につき42万円、未加入の医療機関では39万円の出産一時金が給付される。平成24年度は、加入機関が26件、未加入機関が1件あり、その実績によるもの。

質問

次の段階では遅いのではないか。避難情報などを伝達する必要があるので、個別受信機を避難施設だけに配置するのでは不十分ではないのか。

副市長

今回、整備する防災行政無線システムは、大規模災害が発生した場合を想定しており、南海トラフ型などの大規模な災害が発生し、一般的な通信システム

質問

屋外拡声子局に設置する拡声器が鴨島地区において、牛島地区で3基、他の地区では4基、知恵島地区においては設置しない計画となっているが、その理由は。

防災対策課長

牛島地区については、牛島小学校に拡声器を設置する計画となっている。牛島小学校の東西方向と北の方向には住家があるが、国道の南側には住家がないため、3基を設置することにした。

質問

個別受信機の設置に

が途絶した場合、それぞれ孤立した場所との通信を確保し、災害救助などに利用することを目的として整備するものである。

この目的以外の利用については運用で対応したい。

◇以上異議なしで可と決定



川島地区屋外拡声子局と個別受信機



代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 工藤 俊夫

○都市計画の基本理念について

●市の文化財を観光資源にすべきと思つが

○学校の統廃合について

○人権啓発推進について

○内水対策について(飯尾川)

② 枝澤 幹太

○子育て支援について

●今後の都市計画のあり方について

○教育行政について

○防災・減災について

○地方公務員の給与削減について

一般質問

③ 栗原 五男

○選挙投票所について

○太陽光発電について

●商工まちづくりについて

○企業誘致について

○学校教員による不祥事について

④ 福岡 正

●吉野川市における予防接種について

○空き家対策について

○吉野川市防災行政無線について

⑤ 高木 純

●市営住宅家賃の滞納について

○買い物難民や交通弱者を救済するために

○コミュニティバスが必要と思つが

○下水道接続率の向上について

○下水道料金について

○住宅新築資金等貸付制度の滞納状況について

⑥ 藤原 一正

●吉野川市がめざす教育環境の整備について

⑦ 相原 一永

○学校教育について

●買い物弱者対策について

⑧ 近久 善博

●学校現場における不祥事について

⑨ 川村 辰夫

●西部地区の防災対策について

⑩ 田村 修司

○下水道使用料金について

●吉野川市のラスパイレス指数について

○吉野川市総合計画後期基本計画について

○福利厚生事業への公費支出について

○私道の維持・管理について

⑪ 阿佐 勝彦

●住宅リフォームの支援制度について

○職員の資質向上について

⑫ 岡田 光男

●学校再編計画について

○雨水対策について

平成25年6月議会定例会

代表質問



くどう としお
工藤 俊夫
(志誠会)

市の文化財を観光資源の一助にしては

(質問)

点から線につなぎ、
テーマごとに工夫する

(答弁)

◎質問

JR川島駅前で、大日寺に関する発掘調査により、鴟尾や鬼瓦、螺髪が見されている。

今回の調査発掘は、近年にない世紀の大発見であるから、国・県指定文化財史跡をめざしていく考えは。

次に、現存する文化財の再調査を行い、写真入りの小冊子を発行してはどうか。また、市のホームページにも載せる考えは。

さらに本市には吉野川にかかる橋の博物館といわれている七橋がある。

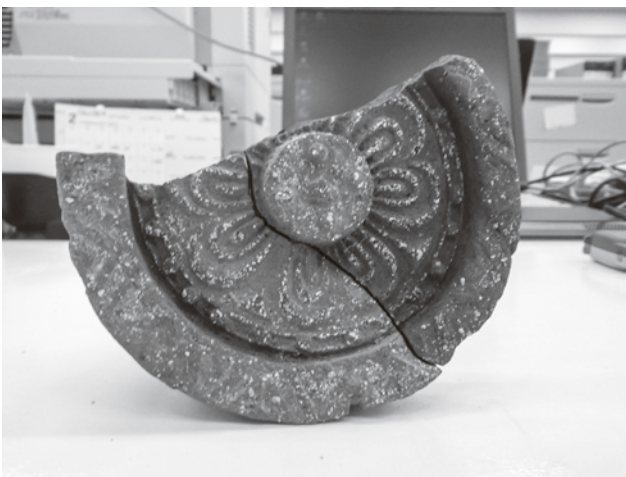
そして、日本一といわれている川中島もある。これらを観光の一助としてはどうか。

○大久保教育次長

大日寺跡は川島駅前付近に白鳳時代に創建された寺院である。

昭和47年に寺の範囲や金堂、門の位置などが推定され、平成24年の調査で瓦、土台部分の凝灰岩、礫敷などが確認された。今後、追加調査をして、国・県の指定史跡文化財をめざしていきたい。

文化財を紹介する小冊子については、文化財や



発掘された鴟尾と鬼瓦

天然記念物を紹介するに
は非常に有効だと考えて
おり、作成に向け検討し
ていきたい。ホームペー
ジについても速に対応
する。

○井内産業経済部長

本市には、国・県・市指定
の文化財が数多くあり、
こうした文化財などを点
から線へとつなぎ、遺跡
めぐりや癒し、あるいは
歴史散策などテーマごと
に利用しやすい周知案内
を工夫し、身近な観光資
源として広く市民に親し
まれるよう努めたい。

【その他の質問】

◎質問

都市計画事業における
線引を外す考えは。

○建設部長

線引きを廃止している
近隣都市を参考にした
い。

◎質問

学校の統廃合は。

○教育次長

地域の理解が得られた
場合のみ実施に移す。

◎質問

人権尊重のまち宣言
は。

○市民部長

本年度末に実現できる
よう検討。

◎質問

石井町の麻名用水堰撤
去は。

○建設部長

ポンプ施設工事の1日
も早い着手を強く要望し
ていく。



えだざわ
みきた
枝澤 幹太
(薫風会)

人口減社会における本市都
市計画の基本的な考え方は

(質問)

問題解決にあたり抜本的な
現制度の見直しが必要である

(答弁)

◎質問

鴨島町は都市計画区域
として指定され都市計画
法に基づいたまちづくり
により、都市計画道路、下
水道などの整備も高い進
捗率である。

一方、町全域は市街化
区域と市街化調整区域と
に線引きされており、厳
しい規制がなされてい
る。人口減少が進んでい
る現状において今後の都
市計画をどのような認識
を持ち展開していくのか
基本的な考え方は。

○松岡建設部長

昭和46年から旧鴨島町

では徳島東部都市計画区
域の構成都市として街
路、下水道など都市施設
の整備を推進してきた。
近年の社会、経済情勢の
変化により中心市街地の
空洞化、集落の衰退など
課題と問題点が生じてお
り、対応策として本都市
計画制度を維持、継続し
ていたのでは根本的な解
決には至らないと考えて
いる。今までの規制から
利用へと転換し、本市の
特色を生かした都市計画
および土地利用計画を展
開することが重要であ
り、抜本的な現制度の見
直しが必要であると考え

ている。

◎再問

定住化促進を図るため
にも線引き制度の廃止を
検討すべきでは。

○松岡建設部長

現制度では発展が望め
ないので線引き制度の廃
止を検討していく。

【その他の質問】

◎質問

川島子ども園の給食部
門を民間委託し運営の効
率化を図る考えは。

○健康福祉部次長

経験と信頼のできる事
業者に調理業務を委託
し、効果的な運営に努め
たい。

◎質問

川島子ども園の利用料
金と、保護者への説明は。

○健康福祉部次長

国の保育基準に準じ、
定額の保育料とする方向
で検討する。
保護者には説明会を実
施する。



吉野川市マスタープラン表紙

平成25年6月議会定例会

一般質問



くわはら
柴原
いっお
五男

駅前商店街活性化の取り組みは

(質問)

空き店舗活用モデル事業補助金を創設する

(答弁)

◎質問

駅前商店街については全国商店街連合会がまとめた報告書の中で、「衰退している」が43.2%、「そのおそれがある」33%で合計76.2%の商店街が、厳しい現状認識を示している。繁盛している商店街はどここの市でも、行政が旗振り役となって祭りやイベントを実施し、勉強会、学習会を開いている。成功例に見られるのは、どこも行政、商工会議所、地元が一体となって活動しているが本市の今後の方針、活性化の対策

については。

○貞野産業経済部次長

平成22年、駅前を潤いのある町という思いを共有する同志によって鴨島駅前まちづくり会議が設立され、常設のフリーマーケットを開設し、駅前周辺の活性化に向けた取り組みを積極的に展開している。

市としては、空き店舗解消の支援策として本年度から「吉野川市空き店舗活用支援モデル事業」を創設した、商店街の空き店舗を活用し、新たに店を開く人に改装費の2

分の1を50万円を上限に家賃は月額2分の1を3万円を上限として補助するという2本立てとなっている。

この補助金を活用して1軒でも空き店舗の解消につながれば、それが呼び水となり活性化につながっていくものと期待している。

【その他の質問】

◎質問

選挙投票所の障がい者などへの対応と靴のまま投票できないか。

○市民部長

有権者や施設管理者などさまざまな意見に耳を傾けながら、選挙管理委員会に適宜諮っていきたい。

◎質問

太陽光発電への取り組みは。

○環境局長

国、県などの動向や情報を素早く把握し設置に

ついて支援を進めたい。

◎質問

企業誘致のため、企業担当の職員を配置する考えは。

○産業経済部次長

全職員一丸となって、企業誘致につながるようPR活動や情報収集に努めたい。

◎質問

学校教員による不祥事で責任の所在は。

○教育長

人事権については徳島県教育委員会にあり、厳正に対処するよう申し込んでいる。



鴨島駅前商店街 空き店舗



ふくおか
福岡
ただし
正

風疹やおたふく風邪の 予防接種補助の考えは

(質問)

助成に必要な費用や方法、効果などについて研究していきたい

(答弁)

◎質問

今年に入り風疹患者数が昨年に比べ大きく増加している。成人がかかる重い症状が現れる風疹の流行を抑制するには予防接種が有効であるが、接種には1万円前後の費用がかかるため、自己負担での接種は難しい。また、おたふく風疹にも予防接種が有効である。本市の風疹とおたふく風疹の発生状況並びに、予防接種状況は。

○辻内健康福祉部長

風疹とおたふく風疹については、県下的には流行の兆しがあるものの、幸い成人の風疹は本市では発生していない。予防接種には法に基づき定期接種と法に基づかない任意接種がある。

過去に定期接種の機会がなかった方や接種率が低い世代があるため、そのような世代には抗体のない方や抗体の低い方がいると思われる。おたふく風疹の予防接種は、1歳を過ぎ、集団生

活を始める前の接種が望ましいとされているが、現在は接種が任意であるため十分把握できていない。

◎再問

平成23年度の国の調査では、男性の15%、20歳から40歳代の女性の約4%が抗体を持っていないとある。生まれてくる赤ちゃんを風疹による影響から守るためには、妊娠を望む女性やその夫への予防接種が大切である。

安心して子どもを産み育てていくためにもおたふく風疹や風疹の不安を取り除くことが必要と考えるが、予防接種補助についてどのように考えているか。

○辻内健康福祉部長

風疹の流行や抑制に予防接種が効果的であることは承知している。全国的な動きを参考にしながら、助成に必要な費用や方法、効果などについて研究していきたい。

[その他の質問]

◎質問

空き家の対策をどのように進めているのか。

◎総務部長

検討会を立ち上げた。今後、空き家に関する相談窓口のあり方について検討していきたい。

◎質問

空き家撤去費助成の具体的な内容は。

◎建設部長

取り壊し費用の一部を支援する制度である。

◎質問

防災行政無線工事の進捗状況と今後の取り組みは。

◎防災局長

平成26年2月末の完成を予定している。今後器具の選択や情報伝達方法について検討していきたい。



たかぎ 高木 純

市営住宅の長期家賃滞納に
どう対処するのか

(質問)

悪質な長期滞納者には裁判所を通じた強制退去も視野に入れる
(答弁)

◎質問

公営住宅の家賃の滞納については、資料によると、7世帯が120か月以上の家賃を滞納している。滞納総額は894万円にもなる。公営住宅家賃の滞納はあってはならないが、それを放置してきた市も問題である。まず家賃滞納の全容は。

○松岡建設部長

25年5月現在の滞納者数は退去者の滞納者が37名、入居者の滞納者が77名中190名、滞納総額は697万1千303円となっており、うち65

◎再問

市営住宅入居者の中には、きちんと家賃を払っている方もいる。家賃が安いとはいえず、わずかな年金で暮らしている方には堪える。寒い時には灯油代を節約して、食費も

切り詰めて家賃を払っている。そんな入居者からは、しっかり家賃を取るのに、10年以上も家賃を払わないのにそのまま放置している。あまりにもひどい滞納者に対して今後どうするのか、法的措置をとるべきだと考えるがどうなのか。

○松岡建設部長

健全な住宅行政を行うため、滞納者には厳しい措置をとる必要がある。悪質な者については裁判所を通じた強制退去も視野に入れた対応をした

○川真田市長

悪質な長期滞納者には裁判所を通じた強制退去も視野に入れた措置をとりたい。





ふじむら
藤原 一正
かずまさ

小規模化が進む学校は
優先順位を付けて再編を

(質問)

複式学級を回避できる
ように努めたい

(答弁)

◎質問

山川町の川田地区には、小規模化が進み、近い将来複式学級に該当する児童数となる小学校がある。川田地区で再編しても、国が適正規模とする12から18学級を保つことは難しいと思うが、再編によって小学校ほどの程度の規模をめざすのか。市教委が考える望ましい教育環境とは何か。

より良くなることの方を重視し、川田地区のような再編が待ったなしの学校から優先順位を付けて早く再編する方が良いのではないかと。再編によって通学距離が遠くなる児童に対しては、スクールバスなどの通学支援が必要になると思うが。

◎大久保教育次長

答申の趣旨を十分踏まえ尊重しながらも、さまざまな可能性や手法について検討しているところである。

国の標準や答申の基準

と同じく、小学校は1学年当り2から3学級がめざすべき規模であると考えますが、何が何でもこの学級数に合わせるということではなく、通学距離や地域の実情・特性を考慮した上で、複式学級を回避し、一定規模を保てるような再編計画にしなければならぬ。適正な規模の中で充実した指導体制による学習が可能となり、多様な人間関係を可能とする環境のもと、切磋琢磨する機会や社会性を身に付ける機会が増えることなどが、市教委がめざす望ましい教育環境であると考える。

ばならないと考える。教育環境とは学校施設のようなハード面だけではなく、スクールバスの運行など通学支援も検討課題である。



川田西小学校

買い物弱者の実態把握は

(質問)

十分把握できてないので
検討する

(答弁)



あいはら
相原 一永
かずなが

◎質問

昨年5月、経済産業省が公表した「地域生活インフラを支える流通のあり方研究会」の発表によると全国の60歳以上の方にアンケートで地域の不便な点を聞いたところ、日常の買い物に不便という声が16.6%と最も高い結果が出ている。また車や移動手段がなく買い物ができない、バス停まで遠くて歩くのがつらいなど、買い物弱者数は全国で600万人と推定されている。

しているのか。また、その対応策は。

◎鎌田福祉事務所長

現在、本市における買い物弱者の実態把握は十分できていない。今後先進事例を参考にし、どのように実態を把握する方法などを含め検討する。

◎再問

秋田市では、買い物環境に関するアンケート調査を行い実情を把握しその対応策を進めるべきとの考えから、日常の買い物に不自由な方を支援す

川田地区の小学校だけでなく、小規模化が進んでいる学校については、何らかの対応をしなければ

るため、公募型プロポーザル方式で選定した事業者が提案した食料品や日用品の配達サービスのビジネスモデル構築事業を試験的に実施している。希望する商品を電話かFAX・ハガキ・インターネットで事業の受託者に注文する。配達方法は受託者や配達業者が直接自宅に配達する場合と、事前に選定した事業者が商品を預かり、そこへ直接取りに行く場合を選択する。このような取り組みで、買い物弱者対策を講じている。

今後、ますます増え続ける事が懸念される買い物弱者。先進事例などを参考に実態調査をする考えはあるのか。対策を講じる考えはあるのか。

○鎌田福祉事務所長

買い物弱者対策は、これからの行政課題として研究・検討していく必要があると考えている。ただ、さまざまな要因があり、各部門とまたがる問題もあるので、今後、実態

把握を含め関係部局と連携し協議したい。

「その他の質問」

◎質問

特別支援教育支援員の今年度の実施状況は。

◎教育次長

今年度は昨年より3名増員し18名体制で、支援を必要とする児童生徒一人ひとりに応じた指導・支援を行っている。



現役の行商実施車



ちかひさ 近久
よしひろ 善博

学校現場における不祥事について

1日も早い信頼の回復に務める

(答弁)

◎質問

平成25年6月7日徳島新聞朝刊で「吉野川市に勤務する教諭が不祥事を越こした」と大きく報道された。

このたびの不祥事は学校全体に対する信頼を著しく損うとともに本市の教育界に対する信頼を損うものである。今回の本市に勤務する教師の不祥事は教育の根底を大きく揺るがすものであり、保護者や子ども、地域住民に大きな動揺を与えた。管理、監督の立場にある市教委の責任は重大である。

○石川教育長

平成25年5月26日、事件発覚より今日までの市教委の対応は。

平成25年5月27日、学校長より報告を受け早急に警察の方へ事実確認した。その後学校現場をどのようにするか県教委、学校長と協議し対応を進めてきた。

◎再問

学校や保護者に対しての対応は。

○石川教育長

本人から体調不良のた

め休みたいとの申し入れがあり、その旨を子どもや保護者に連絡した。補充教員を要請し、現在は全教員で授業、生活について対応している。

○石川教育長

不安を感じている子ども達の心のケアが1番と考え、スクールカウンセラーの活用、保護者の皆様への1日も早い信頼回復、学校が安心して子どもたちの教育に取り組むことができるよう市教委として強力なバックアップをしていく。

◎再々問

今後どのような対応をしていくのか。



かわむら たつお 川村 辰夫

西消防署の早急な改築移転は

(質問)

早急に協議を進めていく

(答弁)

◎質問

近年、南海・東南海地震が高い確率で発生すると危惧されているが、発生すると本市西部地域の防災の拠点となる西消防署が倒壊するおそれがある。

倒壊すれば、消防署としての機能を失い、消防署間、消防団との連携がとれなくなり、本市の西部地域はもちろんのこと、本市全域の救出、救助など消防活動に大きな支

障を来し人的、物的被害を最小限に抑えることができなくなる。吉野川市民の安心・安全のため、最重要課題として、西消防署の改築移転を早急に行う必要があると思うが、築40年経過した西消防署の改築移転計画がいまだ進んでいない。西消防署の改築移転をどのように考えているのか。

○野口防災局長

本市の美郷、山川地区を管轄する西消防署は、旧消防本部、東消防署と同じく、昭和46年に建築され、築40年以上が経過しており、建物は老朽化している上、車両の大型化や人員の増加により手狭となっている。

万一、大規模災害が発生した場合、消防車両や消防署員の安全確保にも不安がある状況となっている。

消防署は防災上重要な拠点施設として位置づけられており、安全・安心なまちづくりの拠点となる消防機能が麻痺すれば、市民の負託に応えられない。早い時期での対策が求められている。西消防署庁舎の今後のあり方については、徳島中央広域連合や構成している阿波市と早急に協議を進めていきたいと考えている。

ば、市民の負託に応えられない。早い時期での対策が求められている。

西消防署庁舎の今後のあり方については、徳島中央広域連合や構成している阿波市と早急に協議を進めていきたいと考えている。



西消防署庁舎

【その他の質問】

◎質問

下水道使用料金の格差是正については。

○水道部長

下水道普及員による接続率の向上を図りながら、使用料について検討する。



たむら 田村 修司

職員給与のラスパイルス指数は

(質問)

9.7ポイント上回っている

(答弁)

◎質問

一億総中流といわれた高度成長期から失われた20年を経て今、日本社会に存在するさまざまな格差が問題となっている。国と地方の公務員給与水準は、通常国を100とするラスパイルス指数で比較されるが、国家公務員給与7.8%削減後、昨年4月時点で地方の指数は107程度に上昇、自治体の87%が国より高い給与を支給している。まず、本市の職員給与のラスパイルス指数は。

◎増富総務部次長

平成24年4月1日現在の指数は109.7となっており、国家公務員の給与削減がないと仮定しても101.3ポイントと上回っている。

◎再問

本市のラスパイルス指数は、2年連続徳島県でも最も高い値であり、4年間全国平均を上回り続けている理由は。

◎増富総務部次長

主な理由は2つ。1つ目は合併前の旧町村において定期的または計画的な職員採用ができていな

かったこと。2つ目は職員の年齢構成の階層が高年齢層に偏っていること。

◎再々問

徳島県内の4市(徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市)の1人あたりの市民所得を比較すると、本市が一番低い。公務員のラスパイルス指数は4市よりも高い。市民の理解に足る適正な職員給与体系なのか、点検の上、現状を是正する予定はあるか。

◎総務部次長

公費負担のあり方は、市町村の共通の課題である。

◎質問

管理ができなくなった私道についての対策は。

◎建設部長

他市の状況を十分踏まえた上で、検討する。

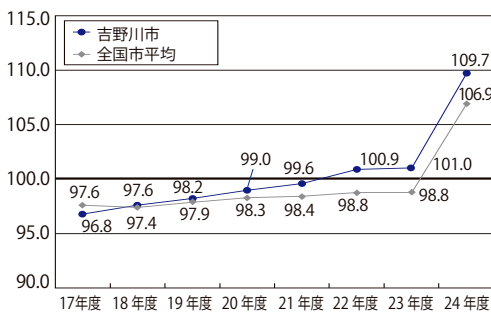
【その他の質問】

◎質問

子育て関連の進捗状況は。

○福祉事務所長

平成26年度に認定こ



ラスパイルス指数の推移

も園が開園する予定。

◎質問

本市職員への福利厚生事業への公費支出について見直す予定は。



あさき かつひこ
阿佐 勝彦

住宅リフォームの支援制度の構築は

(質問)

耐震化を重視

(答弁)

◎質問

本市には、美郷を中心に杉や檜がたくさん生えている。この市産材や市保有の材木を活用してリフォームができるような補助制度を構築できないか。

現在、市では杉や檜の間伐材を活用し、木造住宅の新築補助制度が構築され、林業に照準を合わせた取り組みが進められている。これに併せて、住宅リフォームに対する補助制度があれば、リフォームしてみようかなということになり、経済の活性化に繋がるのでは

ないか。

○松岡建設部長

住宅リフォーム助成制度は、県下で10市町村で取り組まれている。本市の一般木造住宅改修の基本的な考えは、南海地震などの大地震を想定し市民を守る対策が急務である。

住宅の耐震改修を実施するにあたり、リフォームの要素もかなり含んだ工事となることから、リフォーム工事だけを目的とした助成制度でなく、耐震補強工事を並行して施工するほうが安全・安心な生活を守る上でより重要であると判断している。

◎再問

市のスタンスは十分理解したが、耐震補助制度に乗じてのリフォームではなく、リフォーム単独の補助制度を導入しないのはなぜか。

○松岡建設部長

本市の一般木造耐震改修事業は、平成16年度から実施している。この改修事業は、4700万円余り予算化し、事業の促進を図っている。実施件数は約200件で進捗率は県下トップである。

一般木造耐震改修事業は、市の重点的取り組みとしており、あくまでも耐震化を重視した対応が市の基本方針である。



おかだ みつお
岡田 光男

国の通達では統廃合は、住民合意が前提

(質問)

通達の趣旨を踏まえ適切に判断したい

(答弁)

◎質問

学校の統廃合については、地域の合意が不可欠という文部省通達は今でも有効と思うが。

○大久保教育次長

再編に際し、住民の皆様と紛争になることは望んでいない。また、地域の皆様方のご理解と協力なしには学校再編はできないものと考えている。

小規模校が好ましいと判断される場合は、そのようにすべきと考える。いづれにしても通達の趣旨を踏まえ適切に判断していきたい。

◎再問

アンケートの中で、学校施設における問題点は何か、またその課題を解決する場合は学校の建て替えも必要になってくる場合もあるなどの質問があるが、この質問項目が委員会の中でどのように論議されたのか。

○大久保教育次長

また、生きる力を育む教育というのは、学校規模と関係がないように思うが。

学校施設の問題点を解決するための方法として、建て替える場合につ

いて伺ったもので、学校再編策定委員会の中では、現在地での建て替えなどについては特に協議はされていない。

○石川教育長

生きる力とともに、社会人としてのコミュニケーション能力が必要であり、そのためにも、一定の集団規模を形成することが望ましいのではないかと考えている。

【その他の質問】

◎質問

内水による浸水被害の対策は。

○建設部次長

優先度の高い所から既設側溝の更新や排水系統の見直しなど、現実的な対策を講じたい。

紙面の都合上、「市民のページ」を掲載することができませんでしたが、深くお詫び申しあげます。

募 集 要 項

表紙の写真 募 集

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規 定** モノクロおよびカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締 切** 平成25年10月31日(消印有効)
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

…規 定…

- 400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り
平成25年10月4日(消印有効)
*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、
吉野川市議会広報特別委員会で行います。

…あて先…

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

あまのこ
議会だより

6月定例会 No.35
平成25年8月25日

クイズ

果物の名前です。
漢字をカタカナに直してください。

- ① 鳳梨 ⑤ 蜜柑
- ② 甘蕉 ⑥ 檸檬
- ③ 荔枝 ⑦ 酢橘
- ④ 芒果 ⑧ 石榴

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、

◎ 送 り 先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

◎ 締 切 日 平成25年10月4日(消印有効)

チョットひと言

☆漢字の難しさを改めて知りました。

(鴨島町 手塚さま)

☆はじめてチャレンジしました。とてもむずかしかったです。

(鴨島町 西條さま)

☆魚への字はよく目にしますが、珍しい魚に大変勉強になりました。

(山川町 佐竹さま)

◎ (前回の回答)

- ① かじき ② うなぎ ③ おこぜ
 - ④ くまのみ ⑤ ひめじ・ひめち
 - ⑥ わかさぎ ⑦ みるがい ⑧ さわら
- 【応募総数】32通

あとがき

「お母さん日本はなんで戦争したん？」一年生の息子が大好きな本を読みながら私にできた質問です。「なんでだろうなあ」私は家事をしながら返事をすると、「話し合ったら良かったのになあ」息子の言葉に私は「ハッ」とさせられました。終戦をむかえて68年。体験者は高齢になり、私の廻りにはほとんどいません。考えてみると、学校では色々な事を教えて頂きましたが、私自身戦争について誰とも真剣に話し合った事はありません。今幸い日本は

平和といわれていますが、世界のあらゆる所で争いが起きています。とても残酷で悲しい事です。どうすれば争いのない平和な世の中にできるのでしょうか。やはり小さな子ども達でもできる話し合い、対話が1番だと思えます。

今回、私は皆さんの方々とお話をさせて頂く機会を与えて頂きました。とことん話し合えば、きつとお互いの事を理解できると思います。唯一人間だけに与えられた特権を大いに活用していきたいです。まずは家族との会話から。

塩田 智子



市役所ロビーでの原爆写真展

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 委員 長 | 岡 田 光 男 | 編 集 委 員 |
| 副 委 員 長 | 細 井 英 輔 | |
| 委 員 | 塩 田 智 子 | |
| | 岸 田 益 雄 | |
| | 藤 原 一 正 | |
| | 川 村 辰 夫 | |
| | 栗 原 五 男 | |

発行/吉野川市議会 編集/議会広報特別委員会
〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242
議会だよりは再生紙を使用しています